

藻場と保全の取り組み (No. 31)

藻場の名称	六連島藻場		
海域(府県)名*1	響灘 (山口県)	エリア名*1	
藻場の面積	ha 出典:【 ( ) 】		
藻場のタイプ	アマモ場 <b>ガラモ場</b> <b>アラメ・カジメ場</b> ワカメ場 その他 ( )		
藻場の特徴	ガラモとアラメが繁茂していたが、平成25年に30℃を超える高水温塊の影響でアラメが枯死し、現在はガラモを中心とする藻場を形成している。底質は礫、岩礁。サザエ、アワビ、ウニ類の好漁場となっている。		
保全の取り組み名称	食害生物(ムラサキウニ)除去、アラメの母藻及び種苗の投入		
実施団体名	六連島藻場保全グループ		
連絡先住所	〒750-0095 山口県下関市大字六連島1		
代表者名	高端 輝雄	Email	
団体会員数	21名	HP	
(活動の概要)	藻場保全のため、食害生物の除去や藻場の構成種である海藻の母藻及び種苗の投入を行う。		
(主な活動内容)	<b>種の供給・再生</b> 調査研究 磯清掃 <b>食害動物駆除</b> 研修会・学習会 他との協同連携 その他 ( )		
(最近の活動実績)	<p>平成29年5月24日、6月12日、8月29日、11月13日：食害生物除去                  平成29年5月25日：ヒジキ母藻の設置                  平成29年6月12日：モニタリング</p>   <p>ヒジキ母藻の設置</p>  <p>食害生物除去</p>		

\*1: 「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
○野鳥: ○藻場の生き物: アワビ、サザエ、ウニ類、メバル等の魚類、イカ類、ヨコエビ類等の甲殻類等 ○海藻(海草): アラメ、カジメ、ヒジキ、ホンダワラ類、ワカメ等 ○植物:	
希少種の特徴等	
「希少種は存在しない」	

藻場と保全の取り組み (No. 32)

藻場の名称	北九州市小倉北区馬島地先沿岸		
海域(府県)名*1	響灘 (福岡県)	エリア名*1	
藻場の面積	5 ha 出典:【水産多面的機能発揮対策に係る協定書】		
藻場のタイプ	ガラモ場 アラメ・カジメ場		
藻場の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底質は、岩盤や砂地、岩盤の所々では砂地や礫がみられる等、変化に富んでいる。</li> <li>・海藻の種類は、大型海藻から小型海藻まで、様々な海藻が出現する。</li> <li>・漁場としても利用されている。</li> </ul>		
保全の取り組み名称	藻場の保全		
実施団体名	馬島活動組織		
連絡先住所	〒802-0092 北九州市小倉北区大字馬島 309 番地		
代表者名	前田 秀雄	Email	—
団体会員数	21 名	HP	—
(活動の概要)	藻場保全のため、ウニ等の食害生物を除去している。		
(主な活動内容)	食害動物駆除		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 7 月 31 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 8 月 7 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 8 月 27 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 9 月 11 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 9 月 24 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> </ul>		
	食害生物の除去 (ウニ類)		
			

\*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28 年~30 年) 参照

関連する生物種等

は希少種

○海藻; 緑藻綱 2 種、褐藻綱 19 種、紅藻綱 22 種の計 43 種が出現

緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アナアオサ
	シオグサ目	シオグサ科	シオグサ属の一種
褐藻綱	アミシグサ目	アミシグサ科	ヘラヤハス
			シウヤハス
			アミシグサ
			サナダグサ
			ウミウチワ
			フクリンアミジ
			シマオオギ
カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ	
コンブ目	チガイノ科	ワカメ	
	カジメ科	ツルアラメ	
		アラメ	
ヒバマタ目	ホンダワラ科	ホンダワラ	
		ヒジキ	
		ノコギリモク	
		トゲモク	
		マメタワラ	
		ウスバノコギリモク	
		ヨレモク	
		エンドウモク	
紅藻綱	サンゴモ目	サンゴモ科	カニノテ属の一種
			サンゴモ属の一種
			モサズキ属の一種
			無節サンゴモ
テングサ目	テングサ科	テングサ属の一種	
		オバクサ	
スギノリ目	ナミイワタケ科	ナミイワタケ	
	スギノリ科	ツノマタ	
		ツノマタ属の一種	
	ムカデノリ科	フダラク	
	イバラノリ科	イバラノリ	
	イワノカワ科	エツキイワノカワ	
	イワノカワ科	イワノカワ科	
	オキツノリ科	オキツノリ	
	ユカリ科	ユカリ	
	ナミノハナ科	ホシバサミノハナ	
マサゴシバリ目	ワツナギソウ科	ヒラワツナギソウ	
		ワツナギソウ	
イギス目	イギス科	アミクサ	
	フジマツモ科	ヤナギノリ属の一種	
		ソノ属の一種	
		コザネモ	

○藻場の生き物; 11 科 19 種の魚類が出現

スズキ目	メバル科	カサゴ
		メバル
	フサカサゴ科	フサカサゴ科
	タイ科	クロダイ
		マダイ
	ウミタナゴ	ウミタナゴ
	スズメダイ科	スズメダイ
	イシダイ科	イシダイ
	メジナ科	メジナ*
	ベラ科	コブダイ
		ホシササノハベラ
		キュウセン
		ホンベラ
	アイナメ科	クジメ
	ハゼ科	サビハゼ
		チャガラ
		ドロメ
フグ目	フグ科	ショウサイフグ
		クサフグ

希少種の特徴等

希少種は存在しない。

藻場と保全の取り組み (No. 33)

藻場の名称	北九州市小倉北区藍島地先沿岸		
海域(府県)名*1	響灘 (福岡県)	エリア名*1	
藻場の面積	10 ha 出典:【水産多面的機能発揮対策に係る協定書】		
藻場のタイプ	ガラモ場 アラメ・カジメ場		
藻場の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底質は、岩盤や砂地、岩盤の所々では砂地や礫がみられる等、変化に富んでいる。</li> <li>・海藻の種類は、大型海藻から小型海藻まで、様々な海藻が出現する。</li> <li>・漁場としても利用されている。</li> </ul>		
保全の取り組み名称	藻場の保全		
実施団体名	藍島藻場保全部会		
連絡先住所	〒802-0091 北九州市小倉北区大字藍島 32 番地 3		
代表者名	二見 隆	Email	—
団体会員数	74名	HP	—
(活動の概要)	藻場保全のため、ウニ等の食害生物を除去するほか、海藻の種苗生産を行っている。		
(主な活動内容)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">種の供給・再生</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">食害動物駆除</span>		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28年7月30日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・ H28年8月20日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・ H28年10月15日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・ H28年10月24日 海藻の種苗生産</li> <li>・ H28年11月4日 海藻の種苗生産</li> <li>・ H29年2月25日 海藻の種苗生産</li> </ul>		
	食害生物の除去 (ウニ類)	海藻の種苗生産	
			

\*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等

は希少種

○海藻(海草);海藻は、緑藻綱5種、褐藻綱13種、紅藻綱16種が出現し、単子葉植物綱(海草)1種を合わせて計35種が出現

緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アナアオサ アオサ属の一種		
	シオグサ目	シオグサ科	シオグサ属の一種		
	ミル目	ミル科	ミル ハイミル		
褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ヤバスグサ シワヤバス アミジグサ ウミウチワ シマオオギ		
		コンブ目	チガイソ科	ワカメ	
			カジメ科	ツルアラメ アラメ	
		ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヒジキ ノコギリモク ヤナギモク ウスバノコギリモク エンドウモク	
				ヒラガラ目	ガラガラ科
	サンゴモ目			サンゴモ科	カニノテ属の一種 無節サンゴモ
	テングサ目	テングサ科	マクサ オバクサ		
	スギノリ目	スギノリ科	カイノリ ツノマタ イバラノリ科 ツカサノリ科 イワノカワ科	イバラノリ トサカモドキ属の一種 エツキイワノカワ イワノカワ科	
			ユカリ科	ユカリ	
			マサゴシバリ目	ワツナギソウ科	ヒラワツナギソウ
フシツナギ科			フシツナギ		
イギス目	フジマツモ科	ソゾ属の一種 イトグサ属の一種			
単子葉植物綱	オモダカ目	アマモ科	アマモ		

○藻場の生き物;6科11種の魚類が出現

スズキ目	メバル科	カサゴ メバル	
		テンジクダイ科	ネンブツダイ
	タイ科	マダイ	
	スズメダイ科	スズメダイ	
ベラ科		ホシササノハベラ キュウセン ホンベラ	
		ハゼ科	サビハゼ チャガラ クツワハゼ

希少種の特徴等

希少種は存在しない

藻場と保全の取り組み (No. 34)

藻場の名称	北九州市若松区大字安屋地先沿岸		
海域(府県)名*1	響灘 (福岡県)	エリア名*1	
藻場の面積	10 ha 出典:【水産多面的機能発揮対策に係る協定書】		
藻場のタイプ	ガラモ場 アラメ・カジメ場		
藻場の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底質は、岩盤や砂地、岩盤の所々では砂地や礫がみられる等、変化に富んでいる。</li> <li>・海藻の種類は、大型海藻から小型海藻まで、様々な海藻が出現する。</li> <li>・漁場としても利用されている。</li> </ul>		
保全の取り組み名称	藻場の保全		
実施団体名	協田藻場保全部会		
連絡先住所	〒808-0124 北九州市若松区大字安屋 1742 番地		
代表者名	本田 剛	Email	
団体会員数	33 名	HP	
(活動の概要)	藻場保全のため、ウニ等の食害生物を除去するほか、母藻の設置を行っている。		
(主な活動内容)	<input type="checkbox"/> 種の供給・再生 <input type="checkbox"/> 食害動物駆除		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 7 月 23 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 9 月 10 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 10 月 15 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 10 月 21 日 母藻の設置</li> <li>・平成 28 年 11 月 12 日 母藻の設置</li> </ul>		
	食害生物の除去 (ウニ類)	母藻の設置	
			

\*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28 年~30 年) 参照

関連する生物種等			は希少種
○海藻; 緑藻綱 1 種、褐藻綱 17 種、紅藻綱 15 種の計 33 種が出現			
緑藻綱	シオグサ目	シオグサ科	シオグサ属の一種
褐藻綱	アミシグサ目	アミシグサ科	ヤハズグサ シワヤハズ アミシグサ属の一種 ウミウチフ シマオオギ
	コンブ目	チガイノ科 カジメ科	ワカメ ツルアラメ アラメ
	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ホンダワラ イノモク アカモク ユギリモク ヤツマタモク マメタワラ ヤナギモク ウスバノユギリモク エンドウモク
紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ソデガラミ ヒラガラガラ
	サンゴモ目	サンゴモ科	カニノテ属の一種 サンゴモ属の一種 モサズキ属の一種 ヘリリカニノテ属の一種 無節サンゴモ
	テングサ目	テングサ科	オバクサ
	スギノ目	ナミイワタケ科 ツカサノリ科 イワノカワ科	ナミイワタケ トサカモトキ属の一種 エツキイワノカフ イワノカワ科 ユカリ科 ホソユカリ ユカリ
	イギス目	イギス科	アミクサ
○藻場の生き物; 14 科 26 種の魚類が出現			
スズキ目	メバル科	カサゴ	メバル
	ハタ科	キジハタ	
	テンジクダイ科	ネンブツダイ	
	アジ科	マアジ シマアジ	
	タイ科	クロダイ マダイ	
	ウミタナゴ科	ウミタナゴ	
	スズメダイ科	スズメダイ	
	ベラ科	オハグロベラ ホシササノハベラ イトベラ キュウセン ホンベラ クジメ	
	カンカ科	スイ オビアナハゼ アサヒアナハゼ アナハゼ	
	ネズツボ科	ネズツボ科	
	ハゼ科	クツワハゼ ドロメ	
	ニザダイ科	ニザダイ	
カレイ目	ヒラメ科	ヒラメ	
フグ目	カワハギ科	ウマヅラハギ	
希少種の特徴等			
希少種は存在しない			





藻場と保全の取り組み (No. 35)

藻場の名称	北九州市若松区大字小竹地先沿岸		
海域(府県)名*1	響灘(福岡県)	エリア名*1	
藻場の面積	10 ha 出典:【水産多面的機能発揮対策に係る協定書】		
藻場のタイプ	ガラモ場 アラメ・カジメ場		
藻場の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底質は、岩盤や砂地、岩盤の所々では砂地や礫がみられる等、変化に富んでいる。</li> <li>・海藻の種類は、大型海藻から小型海藻まで、様々な海藻が出現する。</li> <li>・漁場としても利用されている。</li> </ul>		
保全の取り組み名称	藻場の保全		
実施団体名	協の浦磯資源保全部会		
連絡先住所	〒808-0008 北九州市若松区大字小竹 3008 番地の 7		
代表者名	崎野 隆則	Email	
団体会員数	44 名	HP	
(活動の概要)	藻場保全のため、ウニ等の食害生物を除去している。		
(主な活動内容)	食害動物駆除		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 7 月 16 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 7 月 30 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 8 月 6 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 9 月 17 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 9 月 24 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> <li>・平成 28 年 10 月 22 日 食害生物の除去 (ウニ類)</li> </ul>		
	食害生物の除去 (ウニ類)		
			

\*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28 年~30 年) 参照

関連する生物種等		は希少種
○海藻; 緑藻綱 3 種、褐藻綱 16 種、紅藻綱 18 種の計 37 種が出現		
緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科 アミモユウ
		シオグサ科 シオグサ属の一種
	ミル目	ミル科 ミル
褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科
		フタエオオギ
		ウミウチワ
		コナウミウチワ
		シマオオギ
	コンブ目	チガイ科 ワカメ
		カジメ科 ツルアラメ
	ヒバマタ目	ホンダワラ科
		ジョロモク
		キレバモク
		ホンダワラ
		アカモク
		ノギリモク
		ヤツタモク
		マメタワラ
		ウスバノギリモク
		ヨレモク
		エンドウモク
紅藻綱	ウミソウメン目	ガラガラ科
		ソデガラミ
		ヒラガララ
	サンゴモ目	サンゴモ科
		カニノ子属の一種
		サンゴモ属の一種
		モサズキ属の一種
		無節サンゴモ
	テングサ目	テングサ科
		マクサ
		テングサ属の一種
		オバクサ
	スギノ目	ナミイワタケ科
		ナミイワタケ
		ツカサリ科
		トサカモドキ属の一種
		イワノカワ科
		エツキイワノカワ
		イワノカワ科
		ユカリ科
		ユカリ
		ミリン科
		トサカノリ
	オゴノ目	オゴノ科
		カバノリ
	イギス目	コノハリ科
		スジウスバリ
		フジマツモ科
		イトグサ属の一種
○藻場の生き物; 14 科 22 種の魚類が出現		
スズキ目	メバル科	カサゴ
		メバル
	ハオコゼ科	ハオコゼ
	テンジクダイ科	ネンブツダイ
	アジ科	マアジ
	タイ科	クロダイ
		マダイ
	ウミタナゴ科	ウミタナゴ
	スズメダイ科	スズメダイ
	インダイ科	インダイ
	ベラ科	オハグロベラ
		ホシササノハベラ
		イトベラ
		カミナリベラ
		キュウセン
		ホンベラ
	カジカ科	アサヒアナハゼ
		アナハゼ
	トラギス科	トラギス
	アイゴ科	アイゴ
フグ目	カワハギ科	ウマヅラハギ
	フグ科	ヒガンフグ
希少種の特徴等		
希少種は存在しない		

藻場と保全の取り組み (No. 36)

藻場の名称	北九州市地先関門地区沿岸				
海域(府県)名*1	響灘(福岡県)	エリア名*1			
藻場の面積	4 ha 出典:【水産多面的機能発揮対策に係る協定書】				
藻場のタイプ	ガラモ場 アラメ・カジメ場				
藻場の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底質は、岩盤や砂地、岩盤の所々では砂地や礫がみられる等、変化に富んでいる。</li> <li>・海藻の種類は、大型海藻から小型海藻まで、様々な海藻が出現する。</li> <li>・漁場としても利用されている。</li> </ul>				
保全の取り組み名称	藻場の保全				
実施団体名	関門環境保全部会				
連絡先住所	〒803-0802 北九州市小倉北区東港1丁目5-17				
代表者名	藤島 賢太	Email	—		
団体会員数	65名	HP	—		
(活動の概要)	藻場保全のため、「母藻の設置」のほか、「浮遊・堆積物の除去」を行っている。				
(主な活動内容)	<table border="1"> <tr> <td>種の供給・再生</td> <td>その他(浮遊・堆積物の除去)</td> </tr> </table>			種の供給・再生	その他(浮遊・堆積物の除去)
種の供給・再生	その他(浮遊・堆積物の除去)				
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年10月26日 浮遊・堆積物の除去</li> <li>・H28年11月1日 浮遊・堆積物の除去</li> <li>・H28年11月5日 母藻の設置</li> <li>・H28年12月22日 母藻の設置</li> <li>・H29年1月28日 母藻の設置</li> </ul>				
浮遊・堆積物の除去					
					
母藻の設置					
					

\*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等			は希少種
○海藻; 緑藻綱3種、褐藻綱11種、紅藻綱18種の計32種が出現			
緑藻綱	シオグサ目 ミル目	シオグサ科 ミル科	フトジュズモ ミル ハイミル
褐藻綱	アマジグサ目	アマジグサ科	ヘラヤハズ シワヤハズ アマジグサ サナダグサ ウミウチワ
	カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ
	コンブ目	チガイノ科	ワカメ
		カジメ科	ツルアラメ
	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヒジキ ノゴギリモク エンドウモク
紅藻綱	サンゴモ目	サンゴモ科	カニノテ属の一種 無節サンゴモ
	テングサ目	テングサ科	マクサ オバクサ
	スギノリ目	スギノリ科	カイノリ マルバツノマタ ツノマタ ツノマタ属の一種
		ムカデノリ科	ツノムカデ サクラノリ
		イバラノリ科	イバラノリ
		イワノカワ科	エツキイワノカワ イワノカワ科
		ユカリ科	ユカリ
	マサゴシバリ目	フシツナギ科	フシツナギ
		マサゴシバリ科	マサゴシバリ マサゴシバリ科
	イギス目	コノハノリ科	スジウスバリ
○藻場の生き物; 15科21種の魚類が出現			
スズキ目	メバル科	カサゴ	メバル
	オニオコゼ科	オニオコゼ	
	アジ科	マアジ	
	イサキ科	イサキ	
	タイ科	クロダイ マダイ	
	ヒメジ科	ヒメジ	
	スズメダイ科	スズメダイ	
	インダイ科	インダイ	
	メジナ科	メジナ	
	ベラ科	ホシササノハベラ ホンベラ	
	アイナメ科	クジメ	
	カジカ科	アサヒアナハゼ	
	ヘビギンボ科	ヘビギンボ	
	ハゼ科	サビハゼ チャガラ アカオビシマハゼ	
フグ目	フグ科	ヒガンフグ コモフグ	
希少種の特徴等			
希少種は存在しない			